

第 4 回	<p>【快適な環境を作る技術①】</p> <p>看護における環境</p> <p>療養生活と環境</p> <p>病室環境のアセスメントと調整環境の基礎知識</p> <p>[講義：長崎恵美子]</p>
第 5 回	<p>・第 5 回と第 6 回は連続して行う</p> <p>【感染予防技術②】</p> <p>衛生学的手洗い・個人防護用具（マスク・エプロン・手袋）の着脱</p> <p>【安全・安楽を守る技術②】</p> <p>ボディメカニクスの原理（水平移動）</p> <p>体位変換（仰臥位→側臥位）</p> <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 6 回	<p>・第 5 回と第 6 回は連続して行う</p> <p>【感染予防技術②】</p> <p>衛生学的手洗い・個人防護用具（マスク・エプロン・手袋）の着脱</p> <p>【安全・安楽を守る技術②】</p> <p>ボディメカニクスの原理（水平移動）</p> <p>体位変換（仰臥位→側臥位）</p> <p>演習のまとめ</p> <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 7 回	<p>・第 7 回と第 8 回は連続して行う</p> <p>A クラス：演習</p> <p>【快適な環境を作る技術②】</p> <p>ベッドメイキング</p> <p>[演習：長崎恵美子、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p> <p>・B クラス：講義</p> <p>【コミュニケーション技術①】</p> <p>コミュニケーションの種類と構成要素、関係構築のためのコミュニケーションの基本</p> <p>[講義：梶原江美]</p>
第 8 回	<p>・第 7 回と第 8 回は連続して行う</p> <p>A クラス：演習</p> <p>【快適な環境を作る技術②】</p> <p>ベッドメイキング</p> <p>演習のまとめ</p> <p>[演習：長崎恵美子、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p> <p>・B クラス：講義</p> <p>【コミュニケーション技術②】</p> <p>プロセスレコードとコミュニケーション障害への対応の基本</p>

	<p>【記録・報告】</p> <p>チームで看護を実践・継続させていくためのコミュニケーション技術（記録・報告）</p> <p>[講義：梶原江美]</p>
第 9 回	<p>・第 7 回と第 8 回は連続して行う</p> <p>B クラス：演習</p> <p>【快適な環境を作る技術②】</p> <p>ベッドメイキング</p> <p>[演習：長崎恵美子、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p> <p>A クラス：講義</p> <p>【コミュニケーション技術①】</p> <p>コミュニケーションの種類と構成要素、関係構築のためのコミュニケーションの基本</p> <p>[講義：梶原江美]</p>
第 10 回	<p>・第 7 回と第 8 回は連続して行う</p> <p>B クラス：演習</p> <p>【快適な環境を作る技術②】</p> <p>ベッドメイキング</p> <p>演習のまとめ</p> <p>[演習：長崎恵美子、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p> <p>A クラス：講義</p> <p>【コミュニケーション技術②】</p> <p>プロセスレコードとコミュニケーション障害への対応の基本</p> <p>【記録・報告】</p> <p>チームで看護を実践・継続させていくためのコミュニケーション技術（記録・報告）</p> <p>[講義：梶原江美]</p>
第 11 回	<p>・第 11 回と第 12 回は連続して行う。A、B クラスごとに別日程で演習する</p> <p>【快適な環境を作る技術③】</p> <p>臥床患者のシーツ交換/環境調整</p> <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 12 回	<p>・第 11 回と第 12 回は連続して行う。A、B クラスごとに別日程で演習する</p> <p>【快適な環境を作る技術③】</p> <p>臥床患者のシーツ交換/環境調整</p> <p>環境整備のグループ発表</p> <p>演習のまとめ</p> <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>
第 13 回	<p>・第 13 回と第 14 回は連続して行う</p> <p>【看護技術論演習実技試験：ベッドメイキング】</p> <p>既習の知識・技術を活用し、患者を迎え入れるベッドを作成する</p> <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p>

	<p>【課題学習】</p> <p>看護師国家試験の出題や疑似問題を通して、既習の知識の要点を整理する。</p>
第 14 回	<p>【看護技術論演習実技試験：ベッドメイキング】</p> <p>既習の知識・技術を活用し、患者を迎え入れるベッドを作成する。</p> <p>[演習：長崎恵美子、梶原江美、幸史子、隅田由加里、中島紀江、西田彩子]</p> <p>【課題学習】</p> <p>看護師国家試験の出題や疑似問題を通して、既習の知識の要点を整理する。</p>
第 15 回	<p>【まとめ：知識・技術の整理】</p> <p>看護技術論演習で学んだ内容について整理する。</p> <p>[講義：長崎恵美子]</p>
テキスト	<p>深井喜代子 編：新体系看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 第6版 メヂカルフレンド社 2021 3,520 円</p> <p>深井喜代子 編：新体系看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 第5版 メヂカルフレンド社 2021 3,520 円</p> <p>宮脇美保子、深井喜代子 総監修：新体系看護学全書準拠 基礎看護学まとめノート 別冊解答付き（第1巻 看護学概論/臨床看護総論、第2巻 基礎看護技術Ⅰ、第3巻 基礎看護技術Ⅱ）第1版 メヂカルフレンド社 2022 4,000 円＋税</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>山口瑞穂子 監修：新訂版 看護技術講義・演習ノート上巻 第2版 サイオ出版 2016</p> <p>山口瑞穂子 監修：新訂版 看護技術講義・演習ノート下巻 第2版 サイオ出版 2016</p> <p>竹尾恵子 監修：看護技術プラクティス【第4版 動画付き】 学研メディカル秀潤社 2019</p> <p>医療情報科学研究所 編：看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第1版 メディックメディア 2018</p> <p>医療情報科学研究所 編：看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第1版 メディックメディア 2018</p> <p>佐藤和良 著：看護学生のための物理学 医学書院 2014</p> <p>その他、学生が学修するにあたって有益な教材があれば、必要時紹介します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>小テストは採点后、次回の講義で解説または提示する。</p> <p>課題レポートや講義に関する質問は、コメントをつけて返却、または、次回の講義内で伝える。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>本科目は、講義と看護技術の実技演習を併せた授業です。看護の礎を築くための初めての授業となります。知識の定着や看護技術の修得には予習・復習は必要不可欠です。テキストや動画視聴、図書館の活用などを用いて予習・復習をして臨むことを定着させましょう。また、演習はグループでの行動となります。基本的な態度として、科目の連絡は毎日確認する、必要な事柄は速やかに担当教員に連絡する、classroom を活用する、感染予防対策・健康管理の他に身だしなみを規定通りに整えて演習に臨みましょう。</p> <p>看護を行うには、心（態度）と頭（知識）と手（技術）すべてが必要です。対象一人ひとりの個性を活かした看護の提供には、手順ではなく根拠を基に考えることが重要です。また、患者役の体験を通して倫理的配慮を工夫し、友人と意見交換を重ねて、よりよい技術の習得を目指しましょう。</p>

